

三島みひろ

2021

1

January
No. 335

良い一年になりますように

三島保育所で12月16日、餅つき大会が行われ、子どもたちが重いきねを持って、一生懸命つきました。



新年明けましておめでとうございます。皆さまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。



三島町長
やざわ げんせい
矢澤 源 成

町民の皆様の中に寄り添い「住んで良かった・住んでみたい」三島町の実現のために、全力を傾注します。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大し、私たちの日常生活が一変しました。3密やソーシャルディスタンス等の言葉が生まれ、いつ感染するかわからないストレスと新しい生活様式の日々が続いております。今後も関係機関と協力しながら感染防止対策に努め、町民の健康を守ることと経済再生を両輪として進めてまいります。いつ終わるとも知れない新型コロナウイルス感染症との戦いにさらされている中、さらに変異種も確認され、より強い感染力となり人類を襲っているという報道がされ、この動向に注意し、今後もコロナ感染症対策については、国や県の指導をいただき、現場からの提案もしながら町民の健康を守ることを最優先としてスピード感をもって取組んでまいります。

昨年は、東京オリンピック聖火リレーが第一只見川橋梁や宮下町内に来

ます。奥会津地域や三島町にとって歴史のページに残る画期的なイベントでしれない」と言っております。今後のの泉を掘る政策」を実施していたん

と会津工人まつり」が無事開催出来ることを願い、三島町そして町民の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

地球の上のどの場所で様々な災害が起こってもおかしくない地球の周期に入ったのではないかと考えられています。大型台風や豪雨災害、地震が襲う周期にきていると考えても過言ではありません。世界中を席巻している新型コロナウイルス感染症もその一つの現象で、我々の文明の方向性に対する警告でないのかと考えています。その意味からすると、欧州型の価値への転換が世界に求められていると考えます。

作家の五木寛之さんは「今は下山の時代だと認識する。山を登っていくときと比較すると熱量もエネルギーも体重のかけ方も違う。しかし下山の価値が劣ることは絶対ない。登山に増して、遠景を眺めたり、高山植物に目をやったり、成熟した人間の喜びを感じる。ます明治大学の小田切徳美教授が来町し、年頭の挨拶をいたします。

最後に、町民の皆様が健康で希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。共に、皆様の心に寄り添い「住んで良かった・住んでみたい」三島町の実現のために全力を傾注してまいります。

令和3年度の事業構築のキーワードは、医療・福祉・環境・再生・健康・文化・農業・林業・6次化産業・交流の10点であります。これに横断をさし多様性の理念の統一を図ることによる、コロナ禍後の社会を見据えた「人口減少社会の生活スタイルの変革期が来ると言われています。ままいます。



三島町議会議長
あおき きしろう
青木 喜 章

町当局・近隣町村と連携し人口減少対策に取り組めます。

新年あけましておめでとうございます。ます。町民の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられた事とお喜び申し上げます。昨年5月の議会の改選により議長に就任致しました青木喜章です。年頭にあたり議会を代表しご挨拶を申し上げます。

また、昨年は大きな自然災害はなかったものの、各地区において鳥獣被害が増加し、自家用の野菜等の被害に加え、販売用の米・そばも被害がおよび、さらに人家近くへの熊等の出没により人的被害が懸念される所です。その対応として鳥獣害専門の地域おこし協力隊の募集を行いました。新型コロナウイルスの影響で採用に至らず、令和3年度はこれらを含めた鳥獣害被害対応の拡充に期待するものです。

奥会津の連携としましては、昨年10月に奥会津在宅医療センターが開設されました。これは県立宮下病院と共同で訪問診療・訪問看護を展開する機関で、病院に行けない方や寝たきりの方等に対する医療で、インフルエンザワクチン接種なども行っており、高齢者の多い奥会津地域に

おいては一つの安心につながる機会として期待しております。今、町は取り組むべき喫緊の課題を多数抱えております。美坂高原の利活用、ふるさと荘の改築、さらに新しいガソリンスタンドの検討、その他、循環型の社会の構築、県立宮下病院の改築計画やJR只見線の全線開通後の活用等々多くの課題があります。議会としても問題意識を共有し町当局と議論を重ねながら、住民の方の不安や心配が少なくなるような取り組みを進めてまいります。

昨年は新型コロナウイルス感染症に脅かされた1年でした。1月から全国に感染が広がりましたが、幸い三島町からは新型コロナウイルス感染者は出ておりません。しかし行事・イベント等はほとんどが中止になり、町内の飲食・宿泊業を始め観光業、農業、さらにもものづくりの方々と多くの町民の方々が影響を受けました。年が明けても収束の兆しが見えるどころか感染拡大が続いており、令和3年度の活動への影響が危惧されるところです。昨年3月に開催予定だった東京オリンピックの聖火リレーが実施されることを願う

しかし、令和3年度につきましては、現在策定中の第五次振興計画にもとづく新たな町づくりがスタートし、今までの計画を踏まえ新たな10

年の町づくりの方向性が示されます。それでも人口予測を見ると、年々減少する予想になっていますが、一方で新型コロナウイルス感染症の影響により東京一極集中が是正されるとの予想もあります。今後「関係人口・交流人口」から「定住人口」の増加へ結びつけるため、「地域おこし協力隊」や「生活工芸アカデミー事業」の継続、新たな仕事づくりなど、町当局と話し合いながら、また近隣町村とも連携し奥会津地域一体となり人口減少対策に取り組まなければと考えています。

結びに、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束しオリンピック聖火リレーが盛会に行われ、町の最大イベントの「ふるさと会津工人まつり」が無事開催出来ることを願い、三島町そして町民の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

生涯学習表彰

生涯学習表彰 文化部門の表彰式は例年、11月3日の町文化祭に併せ行われていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のため文化祭が中止となり、1月4日に行われました。作文コンクールや書道コンクールなどで優秀な成績を収めた16名が矢澤町長より表彰されました。



県小学校理科作品展入選
大竹薫子さん(小5)



県児童作文コンクール佳作
栗城花穂さん(小5)



緑の提言・作文コンクール金賞
浅見凰花さん(小4)



県児童作文コンクール佳作
布川琉生さん(小2)



県児童作文コンクール佳作
秦 寧音さん(中1)



県読書感想文コンクール入選
鈴木美乃里さん(中1)



県書道コンクール奨励賞
飯塚楽人さん(中1)



県中学校生徒造形作品
秀作審査会特選
酒井大駕さん(中2)



県中学校生徒造形作品
秀作審査会特選
二瓶佳悟さん(中2)



県中学校生徒造形作品
秀作審査会特選
五十嵐 望さん(中3)



県中学校生徒造形作品
秀作審査会特選
菅家大貴さん(中3)



県中学校生徒造形作品
秀作審査会特選
板橋 唯さん(高1)



県中学校生徒造形作品
秀作審査会特選
酒井凌大さん(高1)



県中学校生徒造形作品
秀作審査会特選
本名円佳さん(高1)



県中学校生徒造形作品
秀作審査会特選
渡部妃菜さん(高1)



県中学校生徒造形作品
秀作審査会特選
二瓶 勝さん(高1)

※生涯学習表彰スポーツ部門は、今年度対象者はいませんでした。

自治功労者表彰



自治功労者表彰を受けた皆さん(左から)目黒常廣さん(滝谷建設工業株式会社 会長)、黒崎将広さん(株式会社TKC 東北営業部長)、小柴正洋さん、佐久間源一郎さん、五十嵐勝男さん 【出席者のみ】

◆特別功労者表彰

【多年にわたる多額の寄付】

佐久間 源一郎 様(早戸)

◆功労者表彰

【前議会議員】

菅家 政義 様(荒屋敷)

小柴 正洋 様(西方)

【感染予防用品の寄付】

五十嵐 勝男 様(宮下)

【会津地鶏の寄付】

(有)会津地鶏みしまや代表取締役

小平 和広 様(西方)

【多額の寄付】

(株)TKC 代表取締役社長

飯塚 真規 様(栃木県宇都宮市)

【消防団員】

杉原 慶志 様(松原)

◆顕彰者表彰

【県文学賞他 各種大会での受賞】

真田 理実 様(宮下)

◆善行者表彰

【多額の寄付】

小柴 芳郎 様(西方)

◆感謝状表彰

【感染予防用品の寄付】

滝谷建設工業(株) 代表取締役社長

田中 智仁 様(宮下)

【財産の寄付】

齋藤 倫子 様(川井)

佐久間 幸江 様(郡山市)



特別功労者表彰を受ける佐久間源一郎さん

自治功労者表彰式は1月4日、町民センターで行われ、功労のあった次の方々に、矢澤町長から表彰状と記念品が贈られました。



交通事故防止啓発のポスターを配布しました

穏やかな年末年始に向けて 交通事故防止・地域安全運動を実施

年末年始が近づいた12月17日、警察署・消防署・消防団・防犯協会・交通安全協会・交通教育専門員が合同で町内の旅館・飲食店を回り、事故防止や防犯対策、火災予防を呼びかけました。特に年末年始はお酒を飲む機会が増えることから、飲酒運転を絶対にしない、させないことへの呼びかけを行い、安全で穏やかな新年を迎えられるよう協力を促しました。

正しい姿勢で健康に 室内でのウォーキング教室

ウォーキング教室は12月21日、町民センターで行われました。冬期間の運動不足解消を目的に、室内で実施されました。ウォーキング指導員の角田陽市さん（大登）から歩く姿勢や速さ、足の上げ方などの説明を受け、参加された皆さんは、心拍数や歩幅を計測しながら、自分の体に合った理想的な歩き方を意識して、ウォーキングに励んでいました。



ウォーキングの姿勢と歩き方を学びました



営業を開始した三島給油所

地域の生活を支えるスタンドに 公設民営の給油所がオープン

町が公設民営方式での営業再開を目指してきたガソリンスタンド「三島給油所」が12月4日、オープンしました。町内唯一のガソリンスタンドが閉店したのを受け、町民の皆さんの生活に不便が生じないように、町と議会で再開に向けた協議を重ねてきました。豪雪となる冬期間や災害時に燃料供給を担う役割も持っており、桐の里産業株式会社が指定管理者として運営を行います。

町政についての報告、意見交換 令和2年度 地区座談会を開催

地区座談会は11月から12月にかけて、矢澤町長が全15会場に出席して行われました。今回は、第五次三島町振興計画の概要、地区要望事項の取り組み状況等を説明し、質疑と意見交換を行いました。出席した町民の方々からは、説明事項に関する質問のほか、日頃の行政に対する意見や質問などがありました。町では今回の要望等を踏まえ、令和3年度の事業計画と予算編成を行います。



滝谷地区で開かれた地区座談会

いつまでもお元気で 目黒イワトさんと二瓶トシさん・百歳賀寿贈呈式

目黒イワトさん（滝谷）と二瓶トシさん（名入）の百歳賀寿贈呈式が行われました。目黒さんは11月28日、二瓶さんは12月14日に誕生日を迎えられ、桐寿苑において矢澤町長からお祝い状と記念品が贈呈されました。目黒さんの長寿の秘訣は「好き嫌いをなく食べること」、二瓶さんは「好きなことを楽しみ、お酒も少々たしなむこと」と、ご家族がお話しされていました。お二人のますますのご長寿をお祈りいたします。



花束を手にする目黒イワトさん（写真左）と二瓶トシさん（写真右）



美味しいお餅ができました

自分でついたお餅は格別の味 三島保育所の餅つき大会

12月16日、保育所の餅つき大会が行われました。子どもたちが一人ずつ、きねを持って餅をつき、出来上がった餅は、きな粉餅やあんこ餅にして、皆でおいしく食べました。当町では「団子さし」や「サイノカミ」などの伝統行事とともに、餅や団子を食べる昔からの風習が残っています。そのような文化の中で、神様の力が宿る餅を食べ、子どもたちが健やかに成長することを願いました。

歌やダンスで笑顔を贈る 三島保育所クリスマス発表会

三島保育所クリスマス発表会は、12月5日に行われました。新型コロナウイルス感染防止のため、密集を避けて各組ごとに開始時間をずらして開催されました。うさぎ組の「おむすびころりん」、ぱんだ・きりん組の「ブレーメンの音楽隊」などの劇や歌が披露され、子どもたちのかわいらしい姿に会場に訪れた保護者の皆さんから大きな拍手が送られました。



ぱんだ・きりん組によるブレーメンの音楽隊



地区委員による地区新年会実施の話し合い

文・写真 本名与四郎さん(西方)

11月28日、地区委員会が開催されました。会場は会津坂下町の松林閣で、議題をコロナウイルス渦中での地区新年会の実施の有無を中心に協議がなされました。新年会は地区住民だけでなく、遠方から帰省される方々が多数出席し、50人以上の参加となるため、令和3年の新年会は中止となりました。その後、厚生部から婦人会と地区委員合同によるセンター大掃除の日時やインフルエンザ予防接種に伴う健康ミニフォーラムの開催の予定が話し合われました。



令和2年度の早戸地区「お楽しみ会」の活動が終了

文・写真 橋本光五郎さん(早戸)



例年、6月から活動していた地区の女性陣による「お楽しみ会」令和2年度は新型コロナウイルスの影響で活動時期が7月からとなりましたが、感染予防に取り組みながら11月30日に今年度の活動を終えることができました。活動内容は、クラフトバンドを使ったかご作りに取り組んできました。2年目ということで皆さん色々と複雑な形のものにも挑戦したようです。我が家にも色々な色形の籠やバックが並ぶようになりました。冬期間にアイデアを蓄えて、来年度の開始を待つようです。



来年の福を願い、ふるさとセンター清掃活動

文・写真 本名与四郎さん(西方)

12月6日、ふるさとセンターの清掃活動が地区委員と婦人会の皆さんで行われました。今回は新年に向けての清掃活動で、高窓のガラス磨きや談話室の窓拭き、台所の床磨きなど気がついていけない清掃箇所をしっかりと心をこめて、取り組むことができました。2時間程度の清掃作業となりましたが、小松豊区長を中心に参加された皆さんが協力し合いながら、ケガや事故もなく作業を終了することができました。その後、きれいになった談話室にて和やかな雰囲気の中で茶話会が行われました。



桧原地区座談会開催される

文・写真 佐々木邦雄さん(桧原)



桧原地区座談会は12月15日、桧原集会所で開催されました。矢澤町長をはじめ町職員4名と議会議員3名、地区より9名が出席し行われました。鈴木隆一区長と町長の挨拶の後、「第五次三島町振興計画について」「地区要望事項について」「新型コロナウイルス感染症関連について」が町担当者より説明されました。特に町の振興計画は、町の少子高齢化が進行する中で人口の維持、増加が大きな課題となっており、地区の生き残りも考えた活発な意見交換がなされ、充実した座談会となりました。

作成・編集 地域おこし協力隊 三澤龍太(情報発信担当)

地域おこし協力隊 Vol.9



今年の干支にちなんで作成中の赤べこの形をした置物

昨 年1年を振り返ると、引き出し物の制作に多く携わることでよりスキルアップにつながることができたと話す植村さん。大型の家具製作にも尽力し、中平住宅に納品された桐製のチェストは植村さんも制作に携わっているとのこと。大型の家具等を使う資材も当然大きくなり、力不足を感じる時もあったりと、デリケートな桐製品だからこそその難しさも痛感したと話してくれました。

現 在の取り組みとしては、今年の干支にちなんで赤べこの形をした桐の置物を作成中で、大きさも大中小様々な種類を考案中です。今後は色を付けた物と桐の質感を活かした物の2種類を考えているそうです。また、お正月に合わせて桐の絵馬も制作し、製品化も検討しているそうです。絵馬にも今年の干支の牛(赤べこ)のはめ込みデザインがされており非常におしゃれな仕上がりになっています。



作業する手元はまさに職人そのもの

こ れからの目標については、今まで学んだことを自分のものにし、制作に生かしていきたいと話す植村さん。桐製品の制作に携わり、技術を身につけるには協力隊での3年間はとても短いと感じているそうです。残された協力隊としての時間の中で、できるだけ多くのことを吸収し職人として技を磨き、制作に活かせるように今年も頑張っていきたいと話していました。今後も広報を通して、植村さんの活動を皆さんにお届けしていきたいと思います。



丁寧に1つ1つやすりがけをする植村さん
※今回の写真は表情が見えるようにマスクを外しておりますが、コロナ対策を実施した上で取材しています。



植村さんが制作に携わった桐のチェスト

うえむら あきえ
植村 明恵さん
桐製品づくり技術習得
会津桐タンス(株) 配属



協 力隊の活動も2年目となった植村さんの取材をしてきました。会津桐タンス株式会社で昨年1年の活動を振り返り、これまでの経験とこれからについて、いろいろとお話を伺ってきたので紹介いたします。



【間方】0015 売却戸建

- ・木造2階建て
- ・床面積 107.25㎡
- ・築100年以上の古民家
- ・水回りの改修が必要



【宮下】0018 売却戸建

- ・木造2階建て
- ・床面積 138.83㎡
- ・会津宮下駅に近く立地良好
- ・解体して新築を建てることも可能



【宮下】0022 売却戸建

- ・木造2階建て
- ・床面積 56.1㎡
- ・会津宮下駅に近く、コンパクトな物件
- ・家財処分の必要なし



【西方】0021 売却戸建

- ・木造2階建て
- ・床面積 244.29㎡
- ・改修せずにすぐ住める物件
- ・元旅館のため、部屋数が多い

◇物件見学の手順

- ①空き家バンクの利用申込みをしてください。
以下の書類をご提出ください。ホームページもしくは役場窓口で配布しています。
 - ・空き家バンク利用希望者登録申込書（様式8号）
 - ・誓約書（様式9号）
 - ・本人確認書類（運転免許証の写し又は健康保険証の写しなど）
- ②見学の日程調整をします。
所有者や管理者の方々と見学の日程調整を行いますので、何日か候補日をお知らせください。
- ③物件見学をします。
所有者や管理者、職員立ち会いのもと、内外部の見学が可能です。

＊町は所有者と希望者との物件に関する交渉、売買等の契約については関与しません。物件の交渉に進まれる際は、所有者と希望者の二者間で直接行う、もしくは所有者と希望者の双方で仲介を依頼する不動産業者を選定し、契約交渉を行ってください。なお、契約のサポートをしてくださるNPO法人をご紹介しますことができます。

空き家物件の見学のほか、空き家バンクへ物件登録を希望する所有者の方からのご相談も随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。 地域政策課 地方創生推進係 ☎(48)5533

空き家コラム

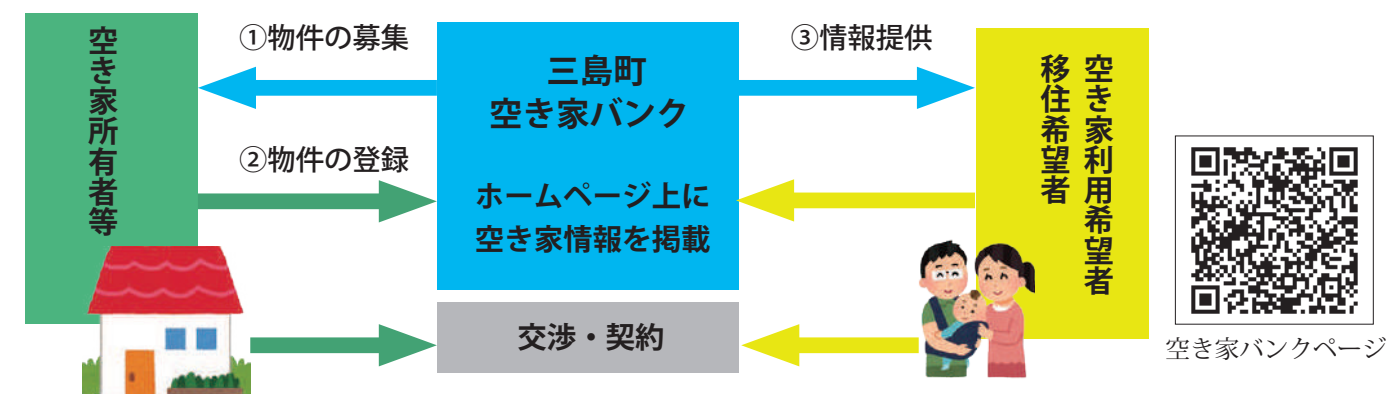
三島町空き家物件のご紹介

最近、町内にお住まいの方からの空き家物件に関する問い合わせが増えてきました。今号では、現在空き家バンクに掲載している物件をご紹介します。 ※所有者の方から許可を受けた物件の概略を掲載しています。詳細やその他の物件については、町ホームページをご覧ください。



◇三島町空き家バンク制度とは

空き家バンクとは、町内の空き家物件のうち、所有者等に利活用の意向がある物件情報を町内外の空き家利用希望者や移住希望者にホームページ上で情報提供し、空き家の利活用による地域の活性化を図る制度です。



◇空き家バンクに掲載中の物件



【大石田】0003 売却戸建

- ・木造2階建て
- ・床面積 212.25㎡
- ・築200年以上の歴史ある農家型住宅
- ・大規模な改修が必要



【西方】0006 売却戸建

- ・木造2階建て
- ・床面積 263.49㎡
- ・基礎をはじめしっかりした材で建てられており、状態も良好な物件



【名入】0012 売却戸建

- ・木造2.5階建て
- ・床面積 80㎡
- ・会津西方駅に近く、コンパクトな物件
- ・風呂場は改修が必要

令和3年度

三島町奨学生募集

町では、高等学校・大学・高等専門学校・専門学校等の学生を対象に、三島町奨学生を募集します。希望される方は期日までに出席手続きをお願いします。

●貸与資格 ①学生または保護者が引き続き1年以上三島町に住所を有する者 ②品行が正しく、学術に優れ、健康である者 ③経済的理由により就学困難と認められる者 ●奨学資金の額（月額） 大学生 3万円以内 その他 2万円以内 （いずれも無利子です） ●貸与期間 進学する学校の正規の修業期間	●償還期間 就職6カ月後から月賦で6年以内での償還となります。 ●出願手続き 奨学生願書、奨学生推薦調書を、令和3年2月22日①までに役場総務課へ提出してください。 （出願書類は役場窓口で配布しています） 【出願先・お問い合わせ】 総務課 総務係 ☎（48） 5511
--	--

町史編さん室だより

第60回

明治末、

大沼郡における木通蔓細工の副業奨励

発親第一一四号
客月二十二日ヨリ沼沢村ニ於テ開設相成候木通蔓細工伝習所へ貴村左記ノモノ入所本月二十一日閉所ニ際シ修了証書授与相成候共際帰村ノ上ハ斯業ノ普及発展ニ盡瘁スヘキ旨告諭ノ次第モ有之候ニ就テハ修了者ニ於テモ夫々普及上計画ヲナシツ、アル儀ト被存候モ貴村又ハ貴村農会ニ於テ費用ノ一部ヲ補助セラレ候次第ニモ有之候間斯業ノ普及上充分便宜ヲトナヘラレ此冬季間ニハ有志者ヲ勧誘シ可成多数ノモノ斯業ニ従事シ副業奨励ノ実行ヲ見候様一層御尽力相成度承旨此段及御通牒候也

明治四十四年十二月廿五日

大沼郡書記 伏見彦衛 ㊤

西川村

原谷村組合村長 斎藤保藏 殿

三谷村

追テ本文事業開始ノ際ハ其情況御報告相成度此段申添候也

左記

西川村

目黒耕市

全

目黒 譲

本資料は今から約百十年前の明治四十四年（一九一）に大沼郡役所の書記から西川村外二ヶ村組合村（後の宮下村）の村長に宛てた通知です。沼沢村（現金山町）に開設した木通蔓細工伝習所が一月の伝習で閉所し、組合村からは西川村の目黒耕市氏・目黒讓氏の二名が修了したこと、彼らと協力しながら普及に努め、冬期間に有志者を勧誘し、木通蔓細工製作という副業を奨励するよう尽力していただきたいと書かれています。また追って本事業の状況報告を行って欲しい旨も書かれています。その報告文書は現時点では見つかっておらず、結果は明らかになっていません。昭

正しい操作で事故防止

毎年、雪の季節になると、除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際は、次の点に注意して操作しましょう。

①作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。

②雪詰まりを取り除くときは必ずエンジン停止し、回転部が停止してから、雪かき棒を使って行いましょう。

③回転部に近づくときは必ずエンジンを停止し、回転部が完全に止まったことを確認しましょう。

④後進時は転倒したり挟まれたりしないよう、足元や後方に十分注意しましょう。

⑤除雪作業中は、雪を飛ばす方向に、人や車、建物などがないことを確認しましょう。また除雪機の周りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

⑥安全装置が正しく作動しない状態では使用してはいけません。また安全装置を意図的に解除したり、故障したままで使用しないようにしましょう。



問 社日本農業機械工業会
除雪機安全協議会

☎ 03（3433）0415

http://www.jfmma.or.jp

和六年（一九三）にまとめられた『郷土誌』には前述の沼沢村の木通蔓講習会に、「宮下青年会」として目黒耕市氏を派遣したと記されています。また、大正元年（一九一）のものと考えられる大沼郡中西部青年会連合幹部会の活動について書かれた文書にも、関連した記述があります。この会は各村にあった青年会を連合する組織です。（なお幹部会の開会地は輪番制で宮下・川口・下中津川としており、それぞれ現在の三島町・金山町・昭和村の役場が立地している地区であり、当時から既に村域の中心地であったことがうかがえます）この会の討議題として、「冬期間農閑期ヲ利用シテ副業ノ発展」という項目があり、その事業の一つに「木通蔓細工研究、共同販売ノ件」が挙げられています。

『金山の民俗』には沼沢村の木通蔓細工隆盛に関する記述があり、その内容によれば明治末期、沼沢村長の養子が津軽に技術の習得に派遣され、帰省後に空き家を講習所として開設、沼沢村内外の青年が集まり受講、大正から昭和の初め頃まで木通蔓細工が盛んに製作され、当地方の副業となったと書かれています。今回掲載した資料はその初期と考えられ、大沼郡役所も事業に関わったことがうかがえます。

三島町の伝統的工芸品の素材である山ブドウ蔓の皮やマタビ蔓、ヒロ口ではなく木通蔓ではありますが、明治末から昭和の初期にかけて、沼沢村を中心に大沼郡中西部における副業の一つとして、編み組細工が位置づけられていたことがわかります。

三島町史編さん室

ご家庭に古い文書や古い写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。 ☎（52）2165



会津坂下警察署からのお知らせ なりすまし詐欺防止

11月に入り還付金詐欺が急増！

「還付金がある」「払戻しがある」等の言葉に注意！
役場職員を名乗る者から税金・医療費・保険料などの還付金があるなどと電話がありATMに誘い出されお金を振り込んだりキャッシュカードをすり替えて盗まれたりしてお金をだまし取られる被害が発生しています。

還付金の電話があったら、家族や警察に相談してください。

カクニジャー福くん



自宅電話を常時留守電にして、
なりすまし詐欺を防止すっぺし！

☎会津坂下警察署 生活安全係 ☎0242 (83) 3451

街頭犯罪発生件数（11月30日現在）

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空 き 巣	1	
忍 び 込 み		
事務所荒らし		
出 店 荒 ら し		
自 動 車 盗	1	
オートバイ盗		
自 転 車 盗	3	
自販機ねらい	1	
車 上 ね ら い	2	
ひ っ た く り		
街頭犯罪合計	8	0
そ の 他 刑 法 犯 等	41	3
全 刑 法 犯	49	3

会津坂下警察署管内では、倉庫や車庫などからの盗難事件が発生しています。必要なとき以外は必ず施錠しましょう。施錠できない場所には、センサーライトなどを設置しましょう。

○その他刑法犯等には、暴行・傷害・万引き・詐欺・器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。※上記発生件数は、令和2年1月1日からの累計数となっています。



消防署からのお知らせ 文化財防火デー

文化財防火デーの制定は、昭和24年(1949年)1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上、壁画の大半が焼損したことに基づいており、文化財防火運動が全国で展開されます。最近では、世界遺産に登録されている沖縄の首里城で大規模な火災がありました。

三島町においても町指定の有形文化財が数多くあり、今年は1月24日に桧原地区において文化財防火訓練が実施される予定です。文化財の多くは木や紙、布など燃えやすい素材で作られているため、所有者や管理者の皆さんはもちろんのこと、周辺の皆さんも火の取り扱いには十分注意し、住民共有の貴重な遺産を後世に引き継いでいきましょう。

1月は冷え込みもピークを迎える頃であり、暖房器具の使用機会も多くなりますので、十分注意してください。

年末年始特別警戒実施中

令和2年12月15日(火)

～

令和3年1月15日(金)

※年末年始には無人となる建物が増えるため、放火火災に注意が必要です。大掃除で出た可燃物等を建物周辺に置くことのないようにし、施錠もしっかりおこないきましょう。



三島 守

☎会津坂下消防署 三島出張所
一火事・救急・救助はー 電話 (52) 3032
119番まで FAX (52) 3033

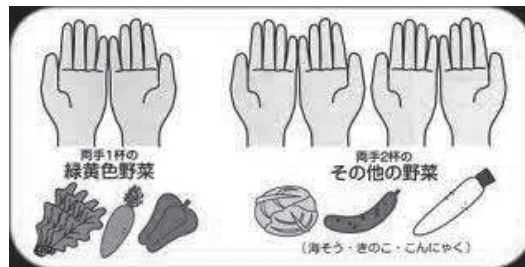
健康で元気な毎日に vol.51 冬に心がけたい食事

☎町民課 保健福祉係 ☎(48) 5565

①青菜（葉物類）をとろう！

青菜には下記の表のように新型コロナウイルスや、風邪などから、体を守る大切な栄養が含まれています。畑で青菜（緑黄色野菜）が取れなくなる冬場にはどうしてもとる量が少なくなりがちかと思いますが、意識して毎日、適量を摂るようにしましょう！

◆1日の必要量は、緑黄色野菜を120g、生で両手いっぱいに乗るくらいの量が目安です。（おひたしにすると片手1杯位）



※その他の野菜は生で両手2杯

青菜類はなぜ大事？ 体の中でどんな働きをしよう

栄養素	体での働き	不足したとき
レチノール (ビタミンA)	粘膜を守る(感染症、がんの予防)	のどや気管支を傷めやすい ポリープがしやすい
	骨や皮膚のつくりかえに役立つ	骨折しやすい
	視力のもとになる	視力の低下
	肝臓機能の正常化	肝臓の繊維化(肝硬変)
葉酸	IgA抗体をつくる	感染症にかかりやすくなる コロナ予防にも大事！
	・細胞を新しく生成し、口の中や胃腸の粘膜再生を促す働き ・赤血球の生成をサポート	・巨赤芽球性貧血(悪性の貧血) ・胎児発育不全

※青菜の中でも小松菜、野沢菜などアブラナ科の野菜は、毒物を減らし炎症を抑える効果と認知症の原因を抑える作用もあります。

②体重を増やさないようにしよう！

毎年冬場になると2～4キロ体重が増加する方がいますが、体重増により内臓脂肪が増え、血管の一番内側の内皮という部分が傷つき動脈硬化や、認知症の原因になります。また、内皮(血管内皮グリコカリックス)は新型コロナウイルスを悪化させないメカニズムに重要な働きを担っているといわれるので、冬場の体重増には注意が必要です。(※喫煙も血管内皮グリコカリックスを減少させます。ご注意ください)

町民センター図書コーナー

「ゆめぽけっと」から図書のご案内

図書コーナー『ゆめぽけっと』利用時間

☎～☎ 午前9時～午後9時 ☎☎☎ 午前9時～午後5時

※年末年始は閉館いたします。☎公民館 ☎(48) 5599

滅びの前のシャングリラ

風良 ゆう：著

「明日死ねたら楽なのにとずっと夢見ていた。なのに最期の最期になって、もう少し生きてみてもよかったと思っている」1ヶ月後、小惑星が地球に衝突する。滅亡を前に荒廃していく世界の中で「人生をうまく生きられなかった」4人が、最期の時までをどう過ごすのか。圧巻のラストに息を呑む。2020年本屋大賞作家が贈る心震わす傑作。

お誕生会クロニクル

古内 一絵：著

誕生日、それはきっと、誰もが自分自身と向き合う日だ。お誕生会が禁止された小学校、お誕生会好きの会社の上司、3.11に祝うお誕生会、認知症の母が祝ってくれた誕生日。あなたのお誕生会には、どんな思いが詰まっていたか。大人気『マカン・マラン』シリーズの著者が描く、生まれできたことを自分で認めてあげたくなる全7編。



☆新着本

たちどまって考える
ヤマザキ マリ：著

タ ク ジ ョ ！
小野寺 史宜：著

東 川 ス タ イ ル
玉村 雅敏 他：著

赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。
青柳 碧人：著



新型コロナウイルス
感染症に関する
誹謗中傷等はやめましょう。

優しさは、
心を結ぶ。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染へのおそれや不安などから、感染者やその関係者などに対する誹謗中傷、さまざまな場面での心ない言動が見受けられます。県民一人ひとりがお互いを思いやる気持ちを持ち、優しさと励ましの絆で新型コロナウイルス感染症を乗り越えていきましょう。

新型コロナウイルス感染症に関する誹謗中傷等被害の相談窓口(福島県)

024-521-8647 (平日9時00分～17時00分)

人権に関する相談窓口(法務省人権擁護局)

■ みんなの人権110番
0570-003-110
(平日8時30分～17時15分)

■ 子どもの人権110番
0120-007-110
(平日8時30分～17時15分) [通話無料]

■ 女性の人権ホットライン
0570-070-810
(平日8時30分～17時15分)

■ インターネット人権相談窓口
<http://www.jinken.go.jp/>
インターネット人権相談

福島県



環境研だより 第30回

令和2年度三島町地域循環共生圏推進協議会総会



三島町のみなさま、あけましておめでとうございます。今年も広報みしまのページをお借りして、環境研と三島町が連携して行っている取り組みについてご紹介していきますのでよろしくお願いいたします。

さて、前回は「地域循環共生圏」の考え方について改めてご紹介いたしました。三島町では昨年2月に「三島町地域循環共生圏推進協議会」が設立された後、計3回の幹事会を経て、昨年11月にこれまでの活動や今後の計画について協議を行う「令和2年度第1回総会」が行われ、我々もアドバイザーとして参加させていただきました。



令和2年度第1回総会の様子

三島町が目指す地域循環共生圏のイメージは、「三島町の貴重な財産となる森林の活用・継承とエネルギーの地産地消を起点に、循環型の社会と産業を形成し、持続可能で自立した暮らしを実現できる町」とされています。

その実現に向けて、「次世代に健全な森林を残せる森林整備のしくみづくり」、「再生可能エネルギーの導入をはじめとした地産地消の資源・エネルギーの循環システムの構築」、「地域エネルギー事業をベースとした生活支援サービスの構築」といったビジョンを掲げ、協議会の中で議論を重ねています。合わせて、町民の皆さまにもこれらの内容をご理解いただけるよう情報発信を進めていきたいと考えています。

協議会では「森林活用」「資源供給」「再エネ利活用」の3つの委員会を設置し、各分野における町内の関係者の皆さまを中心に活動しています。森林活用委員会では、森林資源の活用促進に向けて施策しやすい環境づくりを整えるために、山主さんや地

区の方々との説明・意見交換を進め、資源供給委員会では、森林資源の供給・流通という面から用材の販路確保や拡大を検討、また再エネ利活用委員会では、木質バイオマスエネルギーの導入施設や地域エネルギー事業の設立可能性の検討を進めています。

私たち環境研は、各委員会の取り組みに対してアドバイスさせていただいたり、町内外で実施した研究調査結果(例えば、浅岐地区や初尾沢地区で行ったドローンによる森林調査のデータなど)を提供させていただいたり、研究面からのお手伝いを継続させていただいております。

また、この「環境研だより」のような広報誌やみしまテレビなどのメディアを通じて、町民の皆さまが森林の利用や環境について改めて考えるきっかけづくりになればと考えております。その取り組みの1つとして過去3回開催してきました「環境研出前講座・三島町町民講座」を、今年度はコロナ禍の影響も踏まえながらオンラインを中心とした形式での開催を現在検討中です。詳細が決まりましたら、またこちらでお知らせいたしますので、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



2019年に行った第3回三島町町民講座の様子

< 筆者紹介 >

常盤 達彦 (ときわ たつひこ)

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。去年の12月の時点ですでに大雪がニュースになりましたね。三春町の方に「冬用ワイパー」のお話をしたところ「知らない」と言われたのですが、三島町ではワイパーも冬用に替えますよね?

● 国立環境研究所福島支部

地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572



令和2年分確定申告書作成会場開設のお知らせ

○開設場所 アピオスペース1階

(会津若松市インター西90番地)

○開設期間 2月1日(月)～3月15日(月)

(土・日・祝日を除く)

○開設時間 午前9時15分～午後4時

※会場の混雑緩和のため、入場には「入場整理券」が必要です。「入場整理券」は会場での当日配布とLINEによる事前発行となりますが、配布状況に応じて後日の来場をお願いすることもあります。配布方法の詳細は、別途国税庁のホームページ等によりお知らせします。

※アピオスペースでの開設期間中、税務署には申告書作成会場を設置しておりませんのでアピオススペースにお越しください。

※新型コロナウイルス感染症対策の一環として令和2年分の確定申告では、公的年金を受給されている方を主な対象として、2月16日(火)よりも前から申告相談をお受けします。

●会津若松税務署 ☎0242(27)4311

林業退職金共済制度(林退共)の退職金請求について

林退共は昭和57年に発足した林業界で働く方のための退職金制度です。以前、林業の仕事に従事されたことがあり、その当時、林退共制度に加入していた方で退職金請求手続きをしたお心当たりのない方は、退職金をまだ受け取っていない可能性があります。最寄りの支部または本部へお問い合わせください。

●林業退職金共済事業本部 ☎03(6731)2889

視覚障がい者の教育相談のお知らせ

福島県立視覚支援学校では、疾病などによる視機能低下(著しい視力低下や視野狭窄、視野欠損等)により、進学や就労でお困りの方のための教育相談を行っています。お気軽にお問い合わせください。

○日時 毎週月・水・金曜日の午前9時から午後4時まで

○対象者 乳幼児から成人まで

●福島県立視覚支援学校 ☎024(534)2574

境界問題の解決を支援します

○筆界特定制度(筆界を明確にします)

法務局の職員が専門家の意見を踏まえて、申請者等の意見に拘束されず、真実の筆界を特定します。

○土地家屋調査士会ADR制度(境界問題全般を解決します)

土地家屋調査士および弁護士が相談・調停を行い、柔軟に問題解決のお手伝いをします。※相手方の応諾がないと、手続きを進めることができません。

【境界特定制度】

●福島地方法務局不動産登記部門

☎024(534)2048

【土地家屋調査士会ADR制度】

●境界紛争解決支援センターふくしま

☎024(535)3937

人権擁護委員に二瓶厚さんを再任

人権擁護委員は、法務大臣からの委嘱を受け、町民の皆さんの人権を守る身近なパートナーとして、人権擁護活動を行っています。「人権相談」「人権侵害に関する調査・救済」「人権啓発」等で、皆さんの相談に応じています。町では令和3年1月1日付で、二瓶厚さんが再任されました。任期は令和5年12月31日までの3年間です。



二瓶 厚さん(名入)

●総務課 総務係 ☎(48)5511

1月の納税【納期限 2月1日(月)】

▼町県民税(第4期)

▼後期高齢者保険料【普通徴収】(第6期)

忘れずにお納めください

●町民課 町民係 ☎(48)5555

社会福祉協議会より サロンのご案内

▼大石田友遊サロン

1月12日(火)10時～ 大石田集会所

▼高清水・小山いきいきサロン

1月13日(水)10時～ 高清水集会所

▼滝谷和楽塾

1月13日(水)10時～ 滝谷集会所

▼川井友愛サロン

1月18日(月)10時～ 川井集会所

▼ひまわりサロン

1月19日(火)10時～ 町民センター

▼浅岐あつたかサロン

1月22日(金)10時～ 浅岐集会所

▼サロンないり

1月25日(月)10時～ 名入集会所

▼間方いきいきクラブ

1月29日(金)10時～ 間方集会所

▼大石田友遊サロン

2月1日(月)10時～ 大石田集会所

▼高清水・小山いきいきサロン

2月2日(火)10時～ 高清水集会所

▼桧原はつらつクラブ

2月5日(金)10時～ 桧原集会所

●社会福祉協議会 ☎(52)3344

町の人口と世帯 12月1日現在

人口	1,533	-4	出生	0
男	762	-1	死亡	1
女	771	-3	転入	3
世帯	743	-1	転出	6

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

※『広報みしま掲載同意書』をご提出いただいた方のみを掲載しています。

●特命担当課 ☎(48)5232

お悔み申し上げます

五ノ井 隆雄(94歳・西方)



町社会福祉協議会へのご寄付
ご遺志によるもの

五ノ井 隆一様(西方)

町へのご寄付(ふるさと納税)

薄 訪 幸 様(埼玉県)
諏 訪 郎 様(沖縄県)
五十嵐 竹男 様(福島県)
荒 明 健 様(福島県)
馬 場 昭 様(東京都)
猪 俣 博之 様(宮城県)
丹 野 光 明 様(宮城県)
五十嵐 吉信 様(福島県)
二 瓶 文 隆 様(東京都)
布 川 百合子 様(埼玉県)

ご寄付ありがとうございました

3月開講の職業訓練のご案内

会津訓練センター(ポリテクセンター会津)では、ものづくり分野で早期に再就職を目指す求職者の方々を対象に6ヶ月間の職業訓練を実施するとともに、事業主のご要望にお応えした短期の在職者訓練等を実施しています。

- 募集期間 1月19日(火)から2月17日(水)まで
- 募集訓練科名 CAD・NCコース・電気設備技術コース
- 募集定員 24名
- 訓練期間 3月2日から8月30日まで(6ヶ月間)
- 対象者 公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方
- 受講料 無料
- 選考日 2月19日(金) 午前9時から

●ポリテクセンター会津 訓練課 ☎0242(26)0520

東京2020オリンピック 聖火リレーのルートが決定しました

○実施日 **3月26日(金)**

○ルート ①第一只見川橋梁展望台 スポットC～スポットD
②三島中学校前～三島町観光協会駐車場（距離 1.0km）



※聖火リレーに関する詳細は、組織委員会より発表があり次第お知らせします。

☎教育委員会 ☎ (48) 5599

町長日記 ～地域包括支援センターの役割 長寿万歳と町の取り組み～

No. 63

明けましておめでとうございます。今年は新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束するのを願うばかりです。

さて、昨年は100歳賀寿の贈呈式で2人の方を訪問させていただきました。内閣総理大臣や県知事、そして町から賞状と記念品をお渡ししてお祝いをさせていただきました。一世紀を生きた年月の年輪に圧倒され、賞状を読んでいる際に目頭が熱くなり「おめでとうございませう」というのが精一杯でした。100歳まで生きる人が年々増え、本当に幸せな事があります。ふと浮かんだのは作家の名前は忘れましたが、「言葉のいちばんの幹は、沈黙です」「言葉となつて出たものは幹についている葉のようなものである」というフレーズが脳裏をよぎりました。長寿のお祝いの賞状をお渡しした瞬間の「笑顔」を忘れる事はありません。

町では高齢者がいきいきと地域で暮らし続けるための「三島町地域包括支援センター」をこれまでは委託して運営していましたが、今年度より役場庁舎2階に開設し、町直営で運営しています。要介護状態になっても自宅の住み慣れた環境で生活を続けられる事を目指し、「住まい」「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」の支援サービス5種類を一元的に提供するサポートを行っています。制度が必要とされる時代的背景は、急速な高齢化の進展にあります。私より2歳上になりますが、1947年から1949年に生まれた第1次ベビーブームの「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には、医療や介護に関する需要や保険などの社会保障費が急増することが想定されると言われています。これがいわゆる「2025年問題」であります。

支援サービスの基本になるのが、高齢者が暮らす住環境の整備や食事の準備、見守りの基本的なサービスのほか、社会福祉協議会やボランティアが主体となって運営される地域サロン等の「生活支援・福祉サービス」であります。この基本的な日常生活にプラスして「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」の3種類の専門サービスであります。この取り組みを地域包括ケアシステムと呼んでいます。詳細については、役場町民課または地域包括支援センターへお問い合わせいただければと思います。

コロナに始まりコロナに終わった2020年は、町民の皆様がコロナ予防対策として様々な支援をさせていただきましたが、不要不急な外出の自粛等の様々な制限がなされ、ストレスが蓄積し身心共に疲弊している状態であると思います。しかし、今は我慢の時期であります。

オリンピックの聖火が三島町に来ます。町にとって歴史的な瞬間です。コロナとの戦いが収束する事を願い、町民の皆様にとって良い2021年になりますよう願っています。

三島町長 矢澤 源成